

日本ロレンス協会ニュースレター No. 48

2025 年 4 月 1 日

日本ロレンス協会 会長 石原 浩澄

副会長 木下 誠

第 56 回 全国大会のお知らせ

この「ニュースレター」が届くころには新緑の季節となっていることと思いますが、会員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、毎年恒例のこの時期の「ニュースレター」（春号？）では、今年度の全国大会に関する情報を中心にご案内申し上げます。2025 年度の日本ロレンス協会第 56 回大会は、上石田麗子氏の協力を得まして、来る 6 月 21 日（土）・22 日（日）の両日に東京都渋谷区の國學院大學にて開催されます。多くの方々にご協力いただき、数年ぶりで土曜、日曜の 2 日間での開催ができますことを大変うれしく思います。以下、簡単に大会当日の予定をお知らせいたします。

まず 1 日目です。午後から開会宣言に続きまして、2 つの個人研究発表、シンポジウムひとつ、続いて総会を予定しています。

今年の研究発表は、菅田泰平氏（成蹊大学大学院）の「Miriam as Medium: *Sons and Lovers*における色彩の修辞学」と題する発表で幕を開けます。菅田氏の発表は、登場人物間の人間関係に「色」という切り口から迫ろうとする斬新な *Sons and Lovers* 論のようです。司会は大阪経済大学講師の福田圭三氏にお願いいたします。続いての研究発表は鳥飼真人氏（高知県立大学教授）によるものです。「虹」を架ける——ロレンスはどのように形而上学を動かすか」という論題で、ロレンスと形而上学という哲学的関心を、『息子と恋人』『虹』といった作品の分析を通して追求する研究のようです。木下誠氏（成城大学教授）の司会によって進められます。

個人研究発表に続きまして、日本オーウェル協会との共催という形でシンポジウムが開催されます。数年前から可能性を探ってきた企画ですが、多くの皆様のご協力を得て今年度開催の運びとなりました。詳しくはプログラム上の要旨をご参照いただければと思いますが、高村峰生氏（関西学院大学教授）の司会進行で、オーウェル協会の近藤直樹氏（日本大学教授）、ロレンス協会の大江公樹氏（早稲田大学非常勤講師）を講師に迎え、両作家と政治というテーマをめぐって議論が行われます。両作家の文学テキストを政治というコンテクストにどう開いていくのか、大変興味深いシンポジウムになりそうです。「政治」という概念のとらえ方も講師それぞれで異なるかもしれません。両作家の、講師間の、そしてまたフロアーとの間でどのような化学反応が起こるのかを楽しみにしたいと思います。

シンポジウムに続きまして総会を開催いたします。総会後は懇親会です。オーウェル協会の皆さんとも交流できますことを楽しみにしています。会員の皆様におかれましては、ぜひふるってご参加ください。

2 日目企画の紹介です。午前中に「E. M. フォースターと D. H. ロレンス」というシンポジウムを開催いたします。周知のとおり、フォースターとロレンスはほぼ同時代の著名な英国作家です。プログラム中の要旨で加藤氏も書かれているように、その割には「比較検討されることが比較的少ないペア」だったのかもしれません。それだけに、あらためて両作家を並べて眺めてみる絶好の機会を提供する討論になるのではないかと期待しています。詳細は要旨をご参照ください。講師陣は、大山美代氏（近畿大学講師）、田島健太郎氏（九州工業大学講師）、そして司会を兼ねて加藤彩雪氏（大妻女子大学准教授）です。協会外より田中雅子氏（九州共立大学講師）がコメンテーターとして参加されます。議論の潤滑油として、あるいは起爆剤として、シンポジウムを盛り上げ、活性化していただければ幸いです。

本年度の2つのシンポジウムは、期せずしてロレンスと別の作家とを正面から対峙させて（／とりあげて）議論するものとなりました。今後の研究のひとつのトレンドを示唆するものとなるのでしょうか。研究の動向に注目していきたいと思います。

（なお、役員会につきましては、昨年に引き続きまして大会前々日にオンラインでの開催を予定しています。役員の方々には追ってご案内申し上げます。）

以下、協会事務局よりいくつかのお願いと報告をさせていただきます。

1. 会費納入は同封の郵便振替用紙をご利用ください（手数料は協会負担）。会費は、一般会員は 5,000 円、役員は 10,000 円（但し顧問と退職した役員は 5,000 円）です。永久会員の制度があります。詳細についてはホームページ（<http://dhlsj.jp/dl/syushin.pdf>）をご覧ください、ご活用ください。
2. 住所、所属、e-mail、電話番号等に変更がある場合は、同封の返信葉書でお知らせください。なお、昨年度の総会において、個人情報の管理の点から、今年度より会員名簿を送付しないことが決議されました。ご自身の住所、所属、e-mail、電話番号等の確認が必要な場合は、事務局までメール(mkino@seiyo.ac.jp)にてお問い合わせください。
3. 専任職に就いておらず、かつ公的な機関から研究費を受け取っていない日本ロレンス協会会員に対して、日本ロレンス協会大会で研究発表（シンポジウム講師等の担当を

含む) をする場合、協会で旅費・宿泊費の補助を行う制度があります。詳細については協会ホームページ(<https://dhlsj.jp/dl/josei.pdf>)をご覧ください。

それでは、みなさま、6月に國學院大學にてお会いいたしましょう。